北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

東北大学
TOHOKU UNIVERSITY

名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY



科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業

連携型博士研究人材総合育成システムの構築

CONTENTS

●三大学のさらなる発展に向けて …… 3
運営協議会委員長　笠原正典
●3大学協調による若手研究人材育成をめざして …… 4
東北大学　理事・副学長　早坂忠裕
●人材育成コンソーシアムの設立から成果創出へ …… 4
名古屋大学　理事・副総長　髙橋雅英
●事業についての説明 …… 5
1. 次世代研究者育成プログラムについて …… 6～9
北海道大学　人材育成本部　特任教授(コーディネーター)　米田純一
2. イノベーション創出人材連携育成プログラム …… 10～17
北海道大学　人材育成本部　特任教授(コーディネーター)　吉原拓也
●連絡先 …… 18







令和２年度
コンソーシアム事業（北海道大学・東北大学・名古屋大学）
イベントスケジュール

連携型博士研究人材総合育成システム

日程未定	北海道大学・東北大学・名古屋大学 連携型博士研究人材総合育成システム シンポジウム2019（場所未定）

令和２年度
イノベーション創出人材連携育成プログラム
各大学イベントスケジュール

北海道大学 HOKKAIDO UNIVERSITY　令和２年度 イベントスケジュール

4月～7月	キャリアマネジメントセミナー（MOT関連）
6月下旬	キャリアパス多様化支援セミナーⅠ
7月中旬	キャリアパス多様化支援セミナーⅡ
7月中旬	キャリアパス多様化支援セミナーⅢ
7月下旬	Advanced COSA（1）
8月上旬	Advanced COLA
9月上旬	第43回赤い糸会のためのプレゼンテーション演習
9月下旬	第43回赤い糸会＆緑の会（札幌）
10月上旬	ビジネスマナーの基本と実践
10月中旬	第44回赤い糸会のためのプレゼンテーション演習
10月下旬	第44回赤い糸会＆緑の会（札幌）
11月上旬	ビジネスコミュニケーションセミナー
11月中旬	第45回赤い糸会のためのプレゼンテーション演習
11月下旬	Advanced COSA（2）
11月下旬	第45回赤い糸会＆緑の会（札幌）
1月中旬	第46回赤い糸会のためのプレゼンテーション演習
2月上旬	第46回赤い糸会＆緑の会（東京）
2月上旬	企業事業所視察（道外）
3月上旬	博士インターンシップ体験報告会

東北大学 TOHOKU UNIVERSITY　令和２年度 イベントスケジュール

5月中旬～7月上旬	イノベーション創発塾（前期）開講
6月上旬	インターンシップセミナー
7月中旬	キャリアセミナー
10月上旬～12月上旬	イノベーション創発塾（後期）開講
10月下旬	ジョブフェア

名古屋大学 NAGOYA UNIVERSITY　令和２年度 イベントスケジュール

4月～3月	毎月１回程度　大学院生のためのキャリアガイダンス
5月～2月	毎月１回程度　B人セミナー
9月初旬	企業と博士人材の交流会
12月初旬	博士人材の企業座談会

北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

三大学のさらなる発展に向けて

『連携型博士研究人材
総合育成システムの構築」事業



運営協議会委員長
北海道大学　理事・副学長
笠原　正典

日本は今、新たな未来型の成長戦略を推進するため、国を挙げて第4次産業革命による超スマート社会（Society5.0）の実現を目指しています。多様性がより一層求められる時代となり、様々な分野で高度な研究力を発揮して活躍できる人材の育成は、大学の使命であるとともに社会からも大きな期待が寄せられています。

北海道大学では、第三期中期目標・中期計画において「専門的知識に裏づけられた総合的判断力と高い識見、並びに異文化理解能力と国際的コミュニケーション能力を有し、国際社会の発展に寄与する指導的・中核的な人材の育成」を掲げ、「入学からテニュア職獲得まで」の一貫した人材育成システムの構築のため、若手研究者の育成をはじめとする様々な人材育成システムの改革を進めています。

「連携型博士研究人材総合育成システムの構築」もこの様な流れの中における人材育成システム改革の1つであり、2014年度、文部科学省「科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業」に、北海道大学、東北大学および名古屋大学の3大学が共同で申請し、採択されたものです。

本コンソーシアム事業では2018年度までの5年間で、各大学が有する優れた研究環境や資源を有効に活用するとともに、連携して若手研究人材の育成に取り組んできました。本コンソーシアムにおける若手研究者の育成は順調に進み、テニュア職に着任する人数も着実に積み上げてきました。また、協働する参画機関を増やすことにより本事業が提供するプログラムを経て産業界で活躍する博士研究者が大幅に増加しました。これらの成果をより一層持続可能なものとするために、本学は事業開始6年度となる2019年度以降も引き続き代表校として、東北大学、名古屋大学とともに本コンソーシアム活動を推進し、若手研究者育成に力を尽くす所存です。この挑戦に皆様のご理解とご支援を宜しくお願い申し上げます。



東北大学
TOHOKU UNIVERSITY

3大学協調による若手研究人材育成をめざして

東北大学　理事・副学長（研究）
早坂　忠裕

科学技術人材育成のコンソーシアム構築事業は、「複数の研究機関が連携してコンソーシアムを形成し、若手研究者や研究支援人材に対して、流動性を高めつつ、安定的な雇用を確保するために、国内外の研究機関、企業等とも連携してキャリアアップを図る仕組みを構築し、海外や企業を含めた多様な場で活躍する研究者と高度な研究支援人材を育成することを目的とする」もので、平成26年度から8年間の事業プログラムです。

東北大学では、既に学位プログラム推進機構学際高等研究教育院において修士・博士研究教育院生を学内から公募・選抜し、若手研究者として育成するシステムが確立し、併せて博士後期課程学生やPDを対象として、高度教養教育・学生支援機構キャリア支援センター内の高度イノベーション博士人財育成ユニットにおいてイノベーション創発人財育成プログラムが進行中です。加えて、学際科学フロンティア研究所においては、国際公募によって若手研究者（助教）を募り、令和元年6月現在で41名が活躍中です。これらの学内における若手研究者のキャリアアップ支援システムは、今般のコンソーシアム構築事業と主旨を同じくするものであります。北海道大学、名古屋大学と連携を組むことにより、各大学のもつ強みを生かし、かつ相互に補完することによって、研究人材育成環境がさらに改善されるものと期待しております。

また、本プログラムに参加される若手研究者の皆さんには、長期海外研修、国内他大学における研修などの恵まれた研究並びに事業環境を活用し、自分のスキルアップを図り、世界に羽ばたく研究者として成長されんことを期待しております。

今後の本プログラムの発展・展開に向けて皆様のご理解・ご協力・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY

人材育成コンソーシアムの設立から成果創出へ

名古屋大学　理事（研究・男女共同参画担当）・副総長
髙橋　雅英

本学が、北海道大学・東北大学とコンソーシアムを設立し、3大学が保有する充実した研究環境および人材育成のための資源を共有して人材育成プラットフォームの構築をめざし、本年度で6年目になります。海外派遣や共同研究、インターンシップやキャリアパス支援、雇用期間の保証と流動性を促す仕組みを確保することにより、文系理系を問わず、次世代研究者やイノベーション創出人材を育成してきました。本コンソーシアム事業における取組みは、名古屋大学が人材育成目標として常に掲げる「勇気ある知識人の育成」にも合致したものです。

本コンソーシアム事業における名古屋大学の取組の特色は、次世代研究者育成の対象者を、本学が実施してきたYLC（Young　Leaders Cultivation）プログラムで採用された特任助教からS-YLC特任助教として選抜していることです。YLCは、本学の教育研究の継続的な発展のため、助教クラスの優秀な若手教員を継続的かつ計画的に採用、養成するプログラムであり、その中から本コンソーシアムに参加することで、S-YLC特任助教は、自立的研究環境の構築と着実な研究始動、さらに新たな研究ネットワークの構築が可能となります。本事業の成果として、他大学へ研究主宰者（PI）として転出する教員も出てきています。また、イノベーション創出人材の育成においては、3大学で共有するキャリアパス多様化支援プログラムにより、個別面談、セミナー、企業等へのインターンシップ派遣を通じて異分野・異文化コミュニケーション能力を育み、博士人材のキャリア開拓を支援しています。

本コンソーシアム事業のもと、北海道大学、東北大学及び名古屋大学の若手研究者が、3大学内での共同研究を推進すると共に人脈を広げ、さまざまな分野で国際的に活躍してくれると大いに期待しております。若手研究者にとってこのコンソーシアムを通じて築いたネットワークは一生の財産となり、その後の研究生活の強い礎となるものと確信します。

1．本事業について

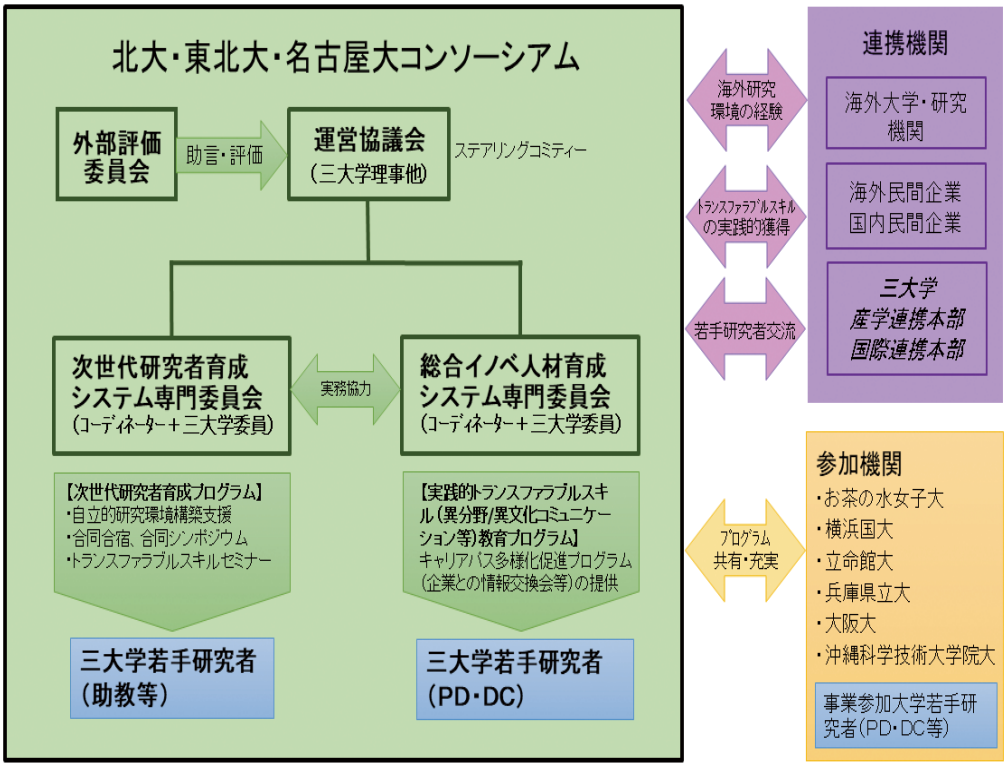
本事業は、北海道大学が代表機関として東北大学、名古屋大学とともに文部科学省「科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業（次世代研究者育成プログラム）」に申請、採択され、平成26年度にスタートした事業です。発足以来、3大学が「コンソーシアム」を形成し、互いの研究人材育成資源を結集して、多様な分野を対象にした次世代研究人材育成システムの構築を推進しています。

2．コンソーシアムの構想

我が国を代表する総合大学3校によるコンソーシアム、外部評価委員会、および研修先としての連携機関（海外連携大学・研究機関及び国内外の企業等）が一体となり、3大学が保有する充実した研究環境および人材育成のための資源を共有することで、博士研究人材が多様なキャリアパスを選択できる共通の科学技術人材育成プラットフォームを構築しつつ、流動性を促進する仕組みを担保しながら、次世代を担う研究者連携育成システムの構築します。今後の持続的に3大学が持つプログラムの共有、共催、参加枠提供などを推進し、コンソーシアムのさらなる充実を目指します。

3．コンソーシアムとしての人材育成の方針と理念

3大学が、これまでの研究および人材育成に関するノウハウの蓄積と資源を効果的に共有し、若手研究者の自律的環境における専門性の深化を一層促進させるとともに、国内外の多様な場においてその真価を発揮するための素養、即ち、国際性とトランスファラブルスキルを備えた次世代を担う科学技術人材の育成を行います。また、原則5年という比較的長期の育成期間を設定し、研究者として必要な基盤的素養を多角的に身につけることを促します。本事業は、任期付き助教等を対象とした「次世代研究者育成プログラム」とPD・DCを対象とした「イノベーション創出人材連携育成プログラム」の2種類のプログラムで構成されています。



2.イノベーション創出人材連携育成プログラム



総合イノベ人材育成システム専門委員会　コーディネーター
北海道大学　人材育成本部　特任教授
吉原　拓也



東北大学：工藤成史特任教授



名古屋大学：森典華特任准教授



北海道大学：出村誠教授

【イノベーション創出人材連携育成プログラム】の趣旨

本事業ではアカデミアにおける優秀な研究人材を三大学で協働して育成する目的に加えて、より若い世代の博士課程学生（DC）や博士研究員（PD）に対するキャリアパス多様化促進に資する各種プログラムの、連携型への移行と発展を推進してまいりました。

DCやPDはアカデミア志向、つまり研究者として生き抜く場所は大学等のアカデミア機関しかないとの思いが強くなる傾向があります。しかし、産業の高度化、企業活動のグローバル化に伴い、DC・PDは産業界でも従来以上に求められるようになりつつあります。

彼らDC・PDが視野を広く持ち、獲得した知識やスキルを如何なく発揮できる分野へ積極的に打って出るためには、産業界などアカデミア以外で挑戦しようという彼ら自身の意識改革への取り組みと、そのような活躍の場に関する正確な情報の提供が必要であることは明白であります。

過去数年にわたり、連携する三大学では文部科学省の支援を受けながらそれぞれが独自にDC・PDに対する意識改革の取り組みや情報およびマッチングの場の提供など、育成のプログラムを構築し推進してきました。それにより多くのDC・PDが海外を含むアカデミア以外の民間企業や研究機関において、その活躍の場を見出し獲得し、実績も上げ始めています。しかしながら各大学単独での施策には経費面や要員面での制約はもとより、各大学の立地や在籍するDC・PDの属性の特徴など、個別の条件も重なって、多方面での施策の展開にはおのずと制約が出てきます。

このような制約を超えた施策を実施するため、本事業では連携する三大学の持つそれぞれ特徴のある有益なプログラムを継続して共同開催、参加枠提供、相互乗り入れや配信などの手段を用いて共有化し、お互いの施策を補完します。またさらに、現在は三大学だけではなく、この取り組みに賛同する他大学（大阪大学・横浜国立大学・お茶の水女子大学・兵庫県立大学・立命館大学・沖縄科学技術大学院大学）も参画を始めており、プログラムはますますその充実度を上げているところです。

【イノベーション創出人材連携育成プログラム】概要

①育成内容

三大学が開発してきた若手研究者（DC・PD）に関する独自の人材育成プログラム（企業を知るためのセミナーや企業等との密接なマッチングシステム、データベース等）を連携させ、コンソーシアム内で若手研究者が自由に参加できる仕組みを構築し、育成対象者にはこれらのプログラムへの参加機会を与えるとともに、多様な企業等でのインターンシップ実施を支援します。

②募集・選考・採用

育成対象者は、特にアカデミア以外でのキャリアパスを志向し、意識高く情報を収集しようとする若手博士研究人材を対象に、公募・推薦等により募集し、コンソーシアムにおいて決定します。

詳細は以下参照。

【協働して実施する各機関のプログラム】

●北海道大学：人材育成本部
上級人材育成ステーション（S-cubic）
http://www2.synfoster.hokudai.ac.jp/S-cubic

●東北大学：高度イノベーション博士人財育成ユニット
http://www.career.ihe.tohoku.ac.jp/ilp

●名古屋大学：社会貢献人材育成本部
ビジネス人材育成センター
http://www.aip.nagoya-u.ac.jp/graduate/career/



連携型博士研究人材総合育成システム

参加機関を含めたイノベーション創出人材連携育成プログラム全体の活動

3大学が連携する仕組みが整った2016年度から、そこで得られた人材育成のノウハウをより多くの機関と共有し、さらに発展させる活動を開始しました。その結果、2018年度までに6大学が参加機関として加入し、9大学が連携して主に博士人材を育成するコンソーシアムとなりました。9大学に在籍する博士課程の学生数は約12000名で、日本全国の博士課程学生数の約16%に達します。9大学の構成およびそれらによる活動内容は以下のとおりです。

■9大学の構成

代表機関：北海道大学
共同実施機関：東北大学、名古屋大学
参加機関：お茶の水女子大学、横浜国立大学、立命館大学、大阪大学、兵庫県立大学、沖縄科学技術大学院大学
その他の機関とも連携し、地域に根差した活動を展開

■9大学の活動

✓ 活動システムの構築
- ・規模（学生数等）が異なる機関が連携する仕組み
- ・設置が異なる大学（国公私立）が連携する仕組み
- ・遠隔地（北海道～沖縄）の機関が連携する仕組み

✓ プログラムの共有
- ・トランスファラブルスキル向上プログラムの共有
- ・企業と博士人材のマッチングイベントへの学生の相互参加（年間9回実施）
- ・博士向け教育動画の共有（100本以上のアーカイブ）

✓ 博士人材育成ノウハウの共有
- ・プログラムへの教員および学生の相互参加
- ・各大学代表者による専門委員会の開催
- ・連携大学および企業等によるシンポジウムの開催
- ・連携大学および企業等による博士人材育成支援に関する研究会の開催

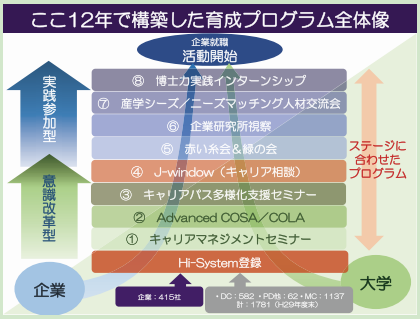


2－①北海道大学
【イノベーション創出人材連携育成プログラム】

北海道大学

北海道大学で博士人材の支援を担当しているのは、人材育成本部・上級人材育成ステーション（S－cubic）です。当ステーションでは博士後期課程学生（DC）や博士研究員（PD）のための登録制WEBシステムの構築と、それを介在した各種意識改革プログラム（講義やセミナー・演習など）の実施や、企業と博士の直接人材交流マッチングである赤い糸会＆緑の会、企業訪問によるシーズ／ニーズマッチング、さらには博士力実践インターンシップによる企業実務経験の支援など多くのコンテンツを提供し、博士人材の社会での活躍を支援しています。これらの施策による意識改革プログラムから実践参加プログラムへとレベルアップし、最終的には企業での博士人材の活躍を推進します。

本プログラムではこれらコンテンツのうち、セミナーなどのリアルタイム配信やオンデマンド提供、またマッチングイベントなどの共同開催、参加枠提供、相互乗り入れを積極的に推進していきます。



具体的に共有・協働可能なものとしては、

■Hi-System（博士と企業のための情報交換WEBサイト）
■J-window（博士のための進路相談窓口）
■キャリアパス多様化支援セミナー（単回セミナー；理工系博士の研究職以外のキャリア紹介等）
■キャリアマネジメントセミナー（前期月曜午後開講；企業の研究開発に対する考え方）
■Advanced COSA（2日集中；企業の研究開発の実際を知るための企業人によるセミナー）
■Advanced COLA（半日集中；主に文系博士の社会での活躍を知るための企業人によるセミナー）
■赤い糸会＆緑の会（1日集中；企業人を招いての博士人材との直接マッチング）
■博士力実践インターンシップ（2か月以上；実際に企業での研究開発業務に携わる）
などがあります。

キャリアマネジメントセミナー
（企業の研究開発に対する考え方）

大学と企業での研究開発活動における考え方の違いや、企業研究人材として必要なマネジメント、プレゼンテーション、リーダーシップなど、実践的な内容を提供するとともに、企業人を招いての新規事業開発のお話なども聞くことができます。



Advanced COSA
（企業の研究開発の実際を知るための企業人によるセミナー）

現役の企業の研究所長／研究部長クラスの方に企業における研究開発の実際と、自身の研究者としての人生を語っていただく貴重な機会です。アカデミア研究と企業研究の違いや、企業における博士人材の活用や活躍ぶりなどもお話しいただきます。



キャリアパス多様化支援セミナー
（博士のキャリア選択の多様性を知るセミナー）

知的財産、交渉学、起業等、専門教育とは異なる、理工系の技術者にとって必要な内容を様々な講義、演習によって学びます。これらのセミナーの中でDC・PDが自己分析を行い、キャリア選択の重要性を認識して将来の活躍の場を考える機会を提供する。



赤い糸会＆緑の会
（博士研究者と企業の直接交流;マッチング）

博士研究者と企業が人数を絞って直接交流し、お互いの思いを直接ぶつけあいます。企業からは新規テーマや必要とするスキルや博士人材像のプレゼン、博士研究者らは専門性やスキル、人物像まで含めたポスター発表でアピールします。その場でインターンシップの内定もあります。







東北大学
TOHOKU UNIVERSITY

私たちが目指していること

●皆さんが博士課程修了後のキャリアを、具体的に思い描けるようになること。

●皆さんが、研究力に加えて、博士に必要とされる様々な資質を身に付けること。

●皆さんが社会に受け入れられ、博士としての今後の人生がより充実したものとなること。



博士としての人生をより充実したものにするためのキャリア支援

イノベーション創発塾

アカデミアや産業界で必須となる能力を増強するための実践的教育プログラムを実施します。





=カリキュラム構成=

- 戦略的キャリアデザイン
- 人間理解とコミュニケーション
- プロジェクトマネジメントの基礎
- 学際的グループ活動

個別面談

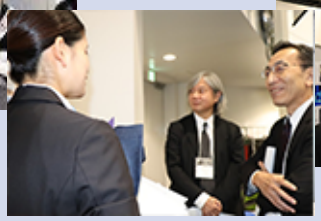
一人一人の事情に合わせた支援を行います。




- キャリア支援
  - 進路相談
  - 就職活動支援：ES、研究概要、面接、模擬授業等の相談
- インターンシップ支援
  （中長期（1-3か月）の研究インターンシップ）

フェア＆セミナー

キャリアパスを決定するための人脈形成・情報獲得の場を提供します。


- ジョブフェア（企業等とのマッチングイベント）
- キャリアセミナー（ケーススタディ）
- インターンシップセミナー（ケーススタディ）

ILP 博士・ポスドクのキャリア支援
東北大学高等教養教育・学生支援機構
キャリア支援センター　高度イノベーション博士人財育成ユニット

— Innovative Leaders Platform —
URL：http://www.career.ihe.tohoku.ac.jp/ilp
E-mail：high-ca@grp.tohoku.ac.jp
Tel：022-795-3231
ILP Home

2－③名古屋大学

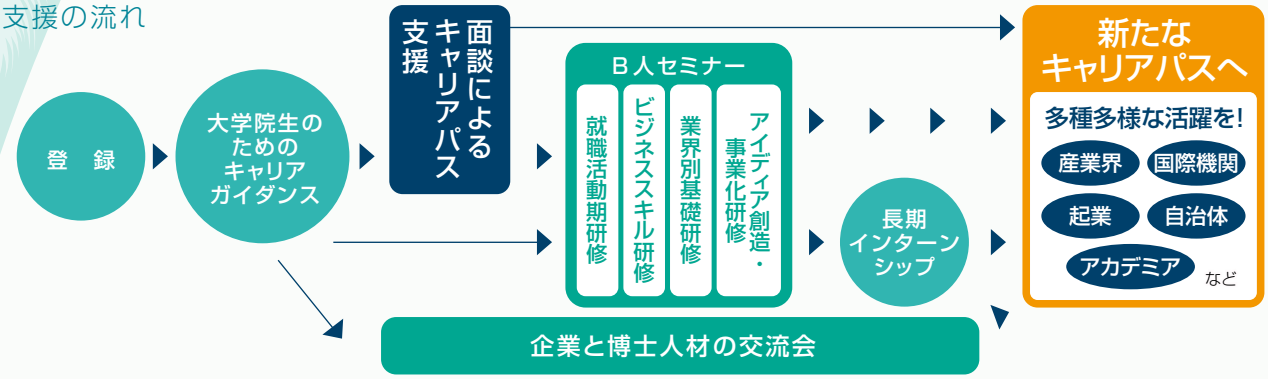
【イノベーション創出人材連携育成プログラム】

名古屋大学

NAGOYA UNIVERSITY

名古屋大学　博士課程教育推進機構　キャリア教育室では、博士後期課程学生を中心とした若手研究者のキャリアパス支援（個人面談、セミナー、博士のインターンシップ支援、企業との交流の機会提供）を実施しています。
個々がこれからの人生で貢献したいことは何かを検討し、それが実現できる職につけるよう支援していきます。

支援の流れ



キャリアガイダンス及び個人面談

毎月実施しているキャリアガイダンスの受講をお勧めしています（他大学からの参加可）。その後、希望者には個人面談によるキャリアパス支援を実施しています。

個人個人に応じた支援ができるよう、個人面談を重要視しています。面談やメール相談を繰り返し、キャリアプランを明確にしていきます。

企業と博士人材の交流会

（企業と博士人材の直接交流）

●ポスターセッション

博士たちが、多様な分野の企業の方に、研究内容の発表を通じて、自身をアピールします。常日頃交流の少ない企業ー博士間における"異業種交流"でもあります。自身の研究の価値を見直し、キャリアプランを考えるきっかけにも役立ちます。

●交流セッション【他大学からの参加可】

○参加企業各社による２分間のPRスピーチで、博士に求められる人材像や新たな業界を発見しましょう。

○各企業ブース１回あたり20 ～ 30分間の企業説明・質疑応答を４～６回入替制で行います。

○情報交換会は、話し足りなかった企業や話せなかった企業と交流を行う絶好の機会です。





長期インターンシップ

（実地で企業の仕事ややりがいを知る場）

企業と大学がコミュニケーションを取り、協力して人材育成を行うプログラムで、就職や視野を広げるための実地研修です。単なる"体験"ではなく、社員と同様に実際の仕事に携わることで、実務的な知識や技術を学ぶことが出来、キャリアに活かすことができます。

インターンシップの期間や業界、研修内容について、個人の要望に近づけた、個人あるいは大学提案型のインターンシップ実施を支援していきます。

B人セミナー

（大学院生に必要な情報やスキルを得るセミナー）

ポストドクター・大学院生であれば、どなたでも参加可能です。博士の持っている力を自覚し、新たに習得し、その力を活用できる業界や分野についての情報を得ることが目的です。なお、セミナーの事前参加登録と併せて当室への登録が必要です。以下のカテゴリーを表示し開催されるので、自らの興味や必要性に応じて受講してください。

Ⅰ. 就職活動期研修　Ⅱ. スキル研修
Ⅲ. 業界別基礎研修　Ⅳ. アイディア創造・事業化研修







その他の支援

●多彩な分野で活躍する方々の話をきくこともできます。
●セミナーのお知らせ等、これからのキャリアを考えるために役立つ情報を中心にメルマガを配信しています。（登録者限定）

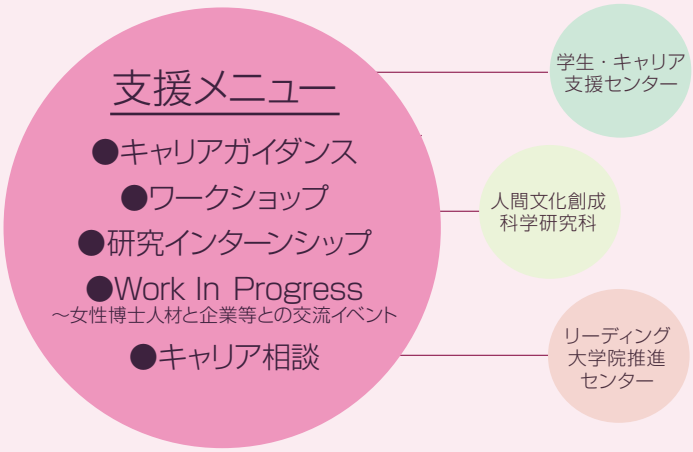
名古屋大学　博士課程教育推進機構　キャリア教育室
http://www.aip.nagoya-u.ac.jp/graduate/career/
E-mail：b-jinsupport@aip.nagoya-u.ac.jp　TEL：052-789-4914

お茶の水女子大学
Ochanomizu University

「学ぶ意欲のある全ての女性にとって、真摯な夢の実現の場として存在する」を標語として掲げるお茶の水女子大学では、博士人材のキャリア形成・就職支援を全学的な協力体制の下に行なっています。学生・キャリア支援センター、リーディング大学院推進センター、人間文化創成科学研究科の連携体制の下、進路に関する相談からマッチングまでをワンストップで行なう相談窓口を常設すると共に、「博士人材のためのキャリアガイダンス」、「就職支援ワークショップ」、「研究インターンシップ紹介」等を行い、博士人材のキャリア形成をトータルに支援する体制を整えています。

中でも「Work In Progress」は、女性博士人材と企業等との交流イベントとして、女性の中長期的なキャリア形成を支援する企業・団体を中心にお招きし、他学の女性博士人材・ポストドクターにも開かれたイベントとして開催しています。

博士人材のためのキャリア・就職支援体制





● Work In Progress2018 ●
～女性博士人材と企業等との交流イベント

（右）企業セミナー、（左上）ポスターセッション、（左下）企業と博人材との個別交流会

【お問い合わせ先】
お茶の水女子大学　学生･キャリア支援センター
docca-all@cc.ocha.ac.jp

YNU 横浜国立大学
YOKOHAMA National University

横浜国立大学では、2016年度に終了した文部科学省「ポストドクター・キャリア開発事業」の自立後継事業として、ドクターキャリア開発事業を継続的に行っています。これは、博士課程（後期）に進学した優秀な人材がアカデミアだけでなく、幅広く社会で活躍できるよう、社会や企業との橋渡しをすることで多様なキャリアパスを提示し、高度教育人材の社会への輩出と人材の流動化を促すものです。これにより、博士課程進学へのハードルを下げ、博士進学者数が増加することで、博士人材による社会の活性化を目指します。

活動内容

上記の目標の下、横浜国立大学　成長戦略研究センタードクターキャリア開発部門では、学生と社会、企業を結ぶ架け橋としてのイベント『博士のシーズ発表会』、『キャリアパスフォーラム』の他、

1）博士号取得後、企業に就職した先輩ドクターから話を聞く『先輩ドクターと語る会』開催
2）キャリア開発支援のための講義『高度専門職能とキャリア開発』（環境情報学府講義と共同）開講
3）博士課程への進学や学位取得後の就職など広く進路に関する相談を受ける『ドクターキャリア相談室』開設
4）大学院生のみを対象とする研究インターンシップの紹介やキャリアイベントに関する情報を届けるメールマガジン『Dキャリ情報版』配信

など、様々な活動を展開しています。

●メールマガジン「Dキャリ情報版」の登録はこちら　→
※本学大学院生の登録　随時受付中

博士のシーズ発表会



博士から企業への情報（研究内容等）発信、企業との直接の意見交換、コミュニケーションスキル向上、学外ネットワーキングを目的として、ショートプレゼンテーション、ポスターセッション等、の企画を行っています。

就職活動の一環としてだけではなく、人脈の形成、共同研究などにも結びつく博士と企業をつなぐ場を提供します。

キャリアパスフォーラム

※他大学からの参加可

博士を求める企業と、企業への就職を希望する博士が互いのマッチングを図る場です。

●ポスターセッション　専門・研究内容だけでなく自分自身の強み、スキル、アピールポイント等をポスター掲示し、企業の方とディスカッションを行います。
●企業セミナー　博士人材に求める人物像、博士人材が活躍できるフィールド（業務、事業領域）等も含め、セミナー形式で企業説明を行います。
●個別説明会　企業毎に個別ブースを設け、時間・人数を区切って、個別相談を複数回行います。個人にマッチした業務内容の紹介など、踏込んだ情報交換が可能です。



YOKOHAMA National University
国立大学法人 横浜国立大学 成長戦略研究センター ドクターキャリア開発部門
〒240-8501　神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-1 本部西棟N2-3
電話･FAX：045-339-4476　E-mail：pdinfo@ynu.ac.jp　URL：http://www.cseg.ynu.ac.jp/pdc/
HP　Facebook

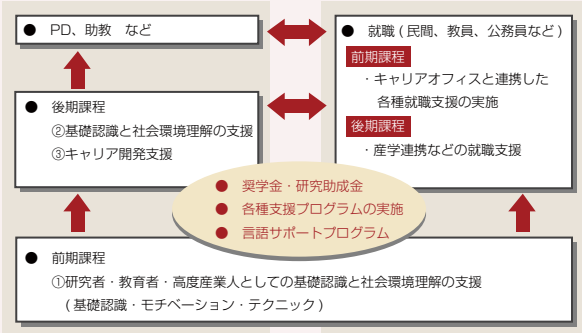
立命館大学
RITSUMEIKAN UNIVERSITY

大学院キャリアパス支援プログラム

立命館大学大学院キャリアパス推進室は、博士課程前期課程・後期課程の大学院生の「研究・教育・専門性の向上」、「キャリア開発力の向上」、「社会課題解決力の向上」を目的として、キャリアパス形成に必要な知識・スキルを身につけるために大学院キャリアパス支援プログラムを実施しています。







目指すキャリアと支援プログラム

基礎力アップ	研究倫理関連セミナー	研究会活動支援セミナー
	英文アブストセミナー	スピーチスキルアップセミナー
	国際学会ポスタースキルアップセミナー	英語プレゼンテーションセミナー
	リサーチプロポーザルコンテスト	英語論文個別指導＆ブルーフリーディングセッションズ
キャリアアップ	基礎力測定テスト	コミュニケーションスキルアップセミナー
	学振申請セミナー	大学院生就活セミナー
	研究とキャリアアップセミナー	キャリアセンター連携各種講座・イベント

補助金・奨学金制度

研究奨励奨学金	国際的・国内研究活動促進研究費
インターンシップ奨学金	学会奨学金
国外共同研究奨学金	博士論文出版助成制度
研究会活動支援制度	英語論文投稿支援制度（院生）
留学協定等にもとづく留学プログラムに対する奨学金	ベーススキル向上支援補助制度（CLA 講座受講料補助）

詳細は　立命館　キャリアパス　検索

立命館大学 大学院課　TEL：075-465-8195
立命館大学大学院キャリアパス推進室　http://www.ritsumei.ac.jp/ru_gr/g-career/
※掲載内容は 2019 年度の概要（予定）です。最新・詳細内容は必ず各募集要項や本学ホームページを参照してください。

公立大学法人
兵庫県立大学
UNIVERSITY OF HYOGO

博士人材キャリア開発プログラム

兵庫県立大学　産学連携・研究推進機構では、博士課程の学生、ポスドクを対象として、博士人材キャリア開発プログラムを実施しています。産業界の色々な方と意見交換することにより、広い視野を持った人材を育成します。

産学連携実践講義

大企業、中堅企業、ベンチャー、公共団体、教育機関のCEO、研究部門トップ、代表等の多彩な講師から、講師のキャリアと業界の現状を講演してもらいます。
イノベーションの起こっている社会の中で自分を見つけるチャンスにして下さい。

若手企業研究者パネルディスカッション

企業で活躍している若手博士研究員（3～8年）による在学中からのキャリア講演と、参加学生も交えたパネルディスカッションを行います。先輩のキャリアを学び、自分のロールモデルを探して下さい。

博士人材と企業の交流会

北海道大学・東北大学・名古屋大学、大阪市立大学・大阪府立大学等の連携大学と協力して、博士人材が企業と交流する場を提供しています。企業の方々とのディスカッションから、企業のダイナミックな活動を実感して下さい。

- インターンシップ
- 博士人材と企業の交流会
- 若手企業研究者パネルディスカッション
- 産学連携実践講義
- キャリアガイダンス
- プログラム説明会

→ 産業界・アカデミアで活躍できる人材

兵庫県立大学　産学連携・研究推進機構
〒670-0962　兵庫県姫路市南駅前町123　じばさんびる3F
TEL:079-283-4560

大阪大学 OSAKA UNIVERSITY

大阪大学キャリアセンターでは、「学ぶ」、「交わる」、「試す」をテーマに、社会で活躍できる博士人材の養成を行っています。年間を通して、研究型のインターンシップのコーディネートをするとともに、就職活動のためのイベントやセミナーを多数開催しています。







学ぶ

□ハカセカフェ
企業等で活躍する博士や就活が終わったばかりの博士課程の学生をゲストスピーカーとして招き、ざっくばらんにキャリアについて話してもらいます。

□博士キャリアセミナー
博士後期課程の学生を対象に、就職活動時期や応募方法、企業の選び方など、博士の就活に必要なことをレクチャーします。

□博士キャリア相談
キャリア設計・就職活動相談など幅広くキャリアについての相談を受けつけています。

交わる

□学生と企業の交流会
企業10数社を招き、ブース形式で、企業の研究内容や研究者としての働き方を聞くことで、企業の研究に対する理解を深めます。

□サイトビジット
「企業の研究者」に対する理解を深めるために、企業の最新鋭の研究所を実際に訪問し、そこで働く研究者と交流します。

試す

□博士人材CAREER FAIR
博士を採用したい企業と、企業就職に関心のある学生・PDとの就職を見据えたブース形式での情報交換会毎年11月～12月に開催しています。

□研究インターンシップ
就活前のインターンシップとは異なる、これまで培った研究力を生かした産業界の研究開発に携わるインターンシップのコーディネートをしています。

国立大学法人 大阪大学 キャリアセンター キャリア教育部門
〒565-0871　大阪府吹田市山田丘2-8 テクノアライアンス棟 A409
E-MAIL:career@uic.osaka-u.ac.jp　TEL:06-6879-4136


大阪大学
公式マスコットキャラクター
「ワニ博士」
（リクルートスーツの頃）

ユニークな環境にいる本学の学生へより良いキャリア支援を提供できるよう、PD カリキュラムの再構築に取り組んでおります。コンソーシアム参加の皆様と連携を深めていくよう努めてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。



OIST OKINAWA INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY GRADUATE UNIVERSITY
沖縄科学技術大学院大学

研究科長オフィス　教務セクション
キャリア開発コーディネーター　プカあや
✉ aya.puca@oist.jp
☎ 098-966-2194

■運営協議会事務局

北海道大学　人材育成本部　連携型博士研究人材育成推進室
〒060-0812　北海道札幌市北区北12条西７丁目
中央キャンパス総合研究棟１号館
TEL 011-706-2271　FAX 011-706-3584
E-mail：cofre@synfoster.hokudai.ac.jp　URL：http://cofre.synfoster.hokudai.ac.jp

■各機関事務局

北海道大学 HOKKAIDO UNIVERSITY

次世代研究者育成担当（助教）
北海道大学　人材育成本部
連携型博士研究人材育成推進室
〒060-0812
北海道札幌市北区北12条西７丁目
中央キャンパス総合研究棟１号館
TEL 011-706-2271
FAX 011-706-3584
E-mail：cofre@synfoster.hokudai.ac.jp
URL：http://cofre.synfoster.hokudai.ac.jp/

総合イノベ人材育成担当（DC・PD）
北海道大学　人材育成本部
連携型博士研究人材育成推進室
〒060-0812
北海道札幌市北区北12条西７丁目
中央キャンパス総合研究棟１号館
TEL 011-706-3195
FAX 011-706-3584
E-mail：cofre@synfoster.hokudai.ac.jp
URL：http://cofre.synfoster.hokudai.ac.jp/

東北大学 TOHOKU UNIVERSITY

次世代研究者育成担当（助教）
東北大学学際科学フロンティア研究所
〒980-8578
宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-3
TEL 022-795-5755
FAX 022-795-5756
E-mail：conso@fris.tohoku.ac.jp
URL：http://www.fris.tohoku.ac.jp

総合イノベ人材育成担当（DC・PD）
東北大学高度教養教育・学生支援機構
キャリア支援センター
高度イノベーション博士人財育成ユニット
〒980-8579
宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-11
TEL 022-795-3231
FAX 022-795-3232
E-mail：high-ca@grp.tohoku.ac.jp
URL：http://www.career.ihe.tohoku.ac.jp/ilp

名古屋大学 NAGOYA UNIVERSITY

次世代研究者育成担当（助教）
名古屋大学
高等研究院
〒464-8601
愛知県名古屋市千種区不老町１番地
TEL 052-788-6051
FAX 052-789-2041
E-mail：nu-iar@adm.nagoya-u.ac.jp
URL：http://www.iar.nagoya-u.ac.jp

総合イノベ人材育成担当（DC・PD）
名古屋大学　社会貢献人材育成本部
ビジネス人材育成センター
〒464-8601
愛知県名古屋市千種区不老町１番地
TEL 052-747-6790
FAX 052-788-6002
E-mail：b-jinsupport@aip.nagoya-u.ac.jp
URL：http://www.aip.nagoya-u.ac.jp/graduate/career/

2019.9.00